

# I 総論

## 1 教育理念

東海大学は、創立者松前重義(1901~1991)の教育に対する情熱と理想を基に1942年に創設された。1925年内村鑑三(1861~1930)に出会った松前は、そのなかに教育の理想の姿を見いだした。1934年デンマークの教育事情を視察した際に、学校とは知識だけを授ける場ではなく、思想を培い、人格を磨き、生活と密着した実践の場であることを身をもって体験し、国づくりの基本は教育にあり、教育を基盤として平和国家日本を築こうと決意し、人生の目標を教育に定め、そのモデルをデンマークの教育に求めた。

一方、松前は、天然資源に恵まれない日本が世界に貢献していくためには科学技術立国の道を歩むほかはないと考えていた。しかし、急速に科学技術が発展し、科学技術に携わる人間の思想のあり方によっては、日本は人類を破滅に導くほどの力を持つようになるのではないかと危惧した。人類の長い歴史をふり返ってみれば様々な対立が繰り返されてきた。宗教・人種間の対立、自然や地球環境と利便さを追求した開発との調和の対立が続いている。これらの対立を克服するためには、社会・自然が共生できる新しい文明社会、つまり、科学技術を基盤として発展してきた物質文明と、人間の尊厳を基調とする精神文明を融合した総合文明の社会づくりに貢献しうる人材を育成する全人的教育が必要と考えた。

すなわち、東海大学は、人を愛し、社会と国家を愛し、世界を愛し、人類社会への奉仕の信念を持って行動しうる人間を育成し、世界の平和と進歩に貢献することをもって建学の理念としている。

このような東海大学の建学の精神に基づき、東海大学医療技術短期大学は「人間愛」を根底とする生命尊重の人間観、歴史観、世界観を確立し、それに基づいた看護観をもち、その信念に基づいて行動し、人類の平和に貢献できる人間を育成することを教育の理念とする。

## 2 沿革

1974年4月1日 第一看護学科(40KF生)50名、第二看護学科(40KS生)50名により、湘南校舎に開学され、同時に医学部が伊勢原校舎に開学された。

第一看護学科は高等学校卒業生または卒業見込みの者に受験資格がある3年制のコース。第二看護学科は高等学校卒業生または卒業見込みの者で准看護師の免許所有者または取得見込みの者に受験資格がある2年制のコースである。

初代学長である松前重義先生(東海大学総長)は医療技術短期大学について、「東海大学はかねてよりの念願であった医学部が発足し、東洋一の付属病院も開院した。しかし、如何に優秀な医師を集め、最新の医療機器を整備しようとも、それをアシストする看護婦の献身的な看護なくしては、病院は心をもたない冷たい科学の殿堂にすぎなくなる。私はかねてより医療の実践における看護婦の存在を強く認識しておったので、医学部および付属病院の発足と時を同じく、看護婦の養成機関である医療技術短期大学を開学した」(『東海大学建学の記』p.89)と本学の建学の理念を記述している。

松前重義学長は『学生便覧(1973)』の巻頭言「人道的で愛情に満ち、使命観に徹した看護職員を」のなかで「東海大学の指向する建学の理念は、物質文明と精神文明の調和による総合文明建設のための人材を養成することにあります。本学はこの理念に基づき、生命尊重の人生観・歴史観・世界観を確立させるとともに、自己の使命を自覚し、広い視野と高度の専門知識をもった医療技術者の養成をめざしています。しかも本学に学ぶ学生は、人道的で愛情に満ち、看護という職責に使命観を持ちうる人でなければいけません」として「人間愛を深め、生命の尊重を基調とするばかりでなく、身体的、精神的、社会的にも健康を保持し、増進に寄与しうる専門職としての看護婦養成に全力を傾け、日本における看護の画期的存在た

らんとしている」と本学の建学の基本理念に記述されている。

本学は開学 1 年前から内田靖子初代学部長を中心に、看護教員スタッフによる短大設立に向けての検討がなされていた。同時に東海大学建学の精神を深く理解するためにデンマーク研修が実施された。

第 1 回は 1973 (昭和 48) 年 11 月 2 日に内田靖子学部長を団長として、第 2 回は 1974 年 1 月 11 日に井上幸子教授を団長として開学前に実施された。松前重義総長は青年時代に内村鑑三を通してデンマークの国づくりを知り、教育活動の重要性を認識された。それが今日の東海大学に結実したのであるが、プロシアとの戦争に敗れ豊かな国土の三分の二を失ったデンマークの、「祖国再建の方途もわからぬままに絶望的な生活を送る人びと」(『現代文明論』東海大学出版、p. 8) の中から立ち上がったのは、92 歳の牧師グルントヴィであった。グルントヴィは荒廃した国土を再建するのは、教育を通じて青年たちに向うべき道を自覚させなければならないとし、働きながら学ぶ「国民高等学校」をつくり、国土の再建に情熱を傾けた。医療技術短期大学の看護教員がデンマークにおいて研修したのは、福祉国家としての先進国の精神と技術を学ぶことと同時に、松前重義の建学の精神を実地に学ぼうとしたからであった。この成果は 1975 年 8 月の第 1 回ヨーロッパ研修としてデンマークで学生が研修する道へとつながり、2010 年で 36 回を数えるまでに発展し、本学教育の大きな柱になっている。

1974 年 10 月 31 日 デンマークからクリステ・ユル夫妻が来校された。ユル先生はデンマーク看護協会のオーフス支部長のとき医療技術短期大学のデンマーク研修の受け入れに尽力された恩人である。

1975 年 9 月 第 1 回戴帽式が実施された。

1976 年 4 月 第一看護学科、第二看護学科ともに定員各 80 名となった。

同年 4 月 医療技術短期大学同窓会が発足した。

1977 年 10 月 1 日 第二代学長に笹本浩教授(医学部教授・付属病院長)が就任した。笹本学長は『学生便覧(1978)』の巻頭言で「ヒューマニズムと科学の調和は、東海大学の指向する建学の精神であります。」とし、専門職としての医療技術者の養成に全力を傾注すると所信を述べた。

1978 年 11 月 1 日 第 1 回飛鷗祭が実施された。

1983 年 4 月 定員変更により、第一看護学科 100 名、第二看護学科 50 名となった。

1987 年 5 月 27 日 松前記念体育館(伊勢原校舎 2 号館)が竣工し、医療技術短期大学の伊勢原教室も新館三階に移転した。

同年 9 月 23 日 第 1 回東海大学短期大学(部)スポーツ大会が三短大合同で、湘南校舎総合体育館で実施された。

1989 年 5 月 20 日 本学建学 15 周年式典と記念シンポジウムが伊勢原文化会館で実施された。

1991 年 4 月 「東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設」が設立された。佐々木正五施設長は『総合看護研究施設年報第 1 号(1991)』の巻頭言において、「近年における生物学的技術の急速な発展と、医療に対する社会的期待感の変貌は、看護自体の新しい姿の開発を求めるに至った。」「本学では総合看護研究施設を創立し、時代の流れと学問的要請に答えようとしている。かかる意味からも本施設は閉鎖的であることは許されず、広く学問の発展を願うもので、そのマイルストーンとして年報を刊行する」とし、年報の発刊と研究施設の役割を述べている。

1993 年度より「現代文明論」の運営が東海大学文明研究所から「現代文明論委員会」に替わり、「東海大学医療技術短期大学文明論委員会規程」が 4 月 1 日制定された。

1994 年 10 月 15 日 本学創立 20 周年記念行事が湘南校舎の松前記念講堂で開催され、「デンマーク看護研修・20 周年記念講演会」で、メレーテ・トーセン(デンマーク看護協会)、グレダ・ギリング(オーフス看護学校)の両先生による講演が行われた。

1996 年 4 月 第一看護学科の定員が 70 名に変更された。

1997 年 4 月 指定規則の一部改正(1997)を受けて、第一看護学科および第二看護学科カリキュラムの大幅な変更を行った。

1999 年 3 月 デンマークより、教員 7 名、学生 9 名の研修を受け入れた。

2000 年 1 月 セクシュアル・ハラスメント人権委員会規程制定。

2000 年 4 月 看護婦 2 年課程について指定規則改正（1999）があり、第二看護学科のカリキュラムを改訂した。また、東海大学運営方針において、総長が(1)従来型の知識注入型、教師独演会型から、学生・生徒との対話型、学生・生徒参加型への切り替え、(2)学生の基礎学力の向上、考える教育へ、(3)教育改革の決定的な力となるのは、教員の教育力の向上、すなわち FD が重要であり、これは制度の改革ではなく、意識改革であると明言。本学でも、東海大学授業評価にそって授業評価が開始された。

同年 12 月 13 日 デンマーク王国オーフス地域看護学校、および 2001 年 1 月 16 日中国牡丹江華日高級中学との間において学术交流に関する協定が締結された。

2001 年 4 月 第一看護学科のカリキュラムが改訂された。

同年外部の教育機関からの評価として、A 医療短期大学による査察を受けた。

2002 年 4 月 学生の生の声を教育に反映する目的で「意見箱」を設置した。

2003 年度より FD の一貫として、本学教員による授業を対象として Teaching of the Year（褒章制度）を設けた。

2004 年 4 月 第二看護学科は募集停止、第一看護学科は看護学科へと名称を変更し定員 80 名となった。

2005 年 3 月 第二看護学科は廃止された。

2005 年 4 月 看護学科のカリキュラムを改訂した。

同年 8 月 2004 年度教育研究年報を 30 周年記念号として発刊するとともに、10 月松前記念会館においてデンマークよりインガー・マルグレーテ・イェンセン先生およびグレタ・ギリング先生をお招きして 30 周年記念式典を開催した。

2006 年 4 月 デンマークより学生 10 名、教員 10 名の研修を受け入れた。

同年 9 月 短期大学協会（第三者評価認証機構）による第三者評価を受け認証された。

2007 年 4 月 倫理委員会が設置された。

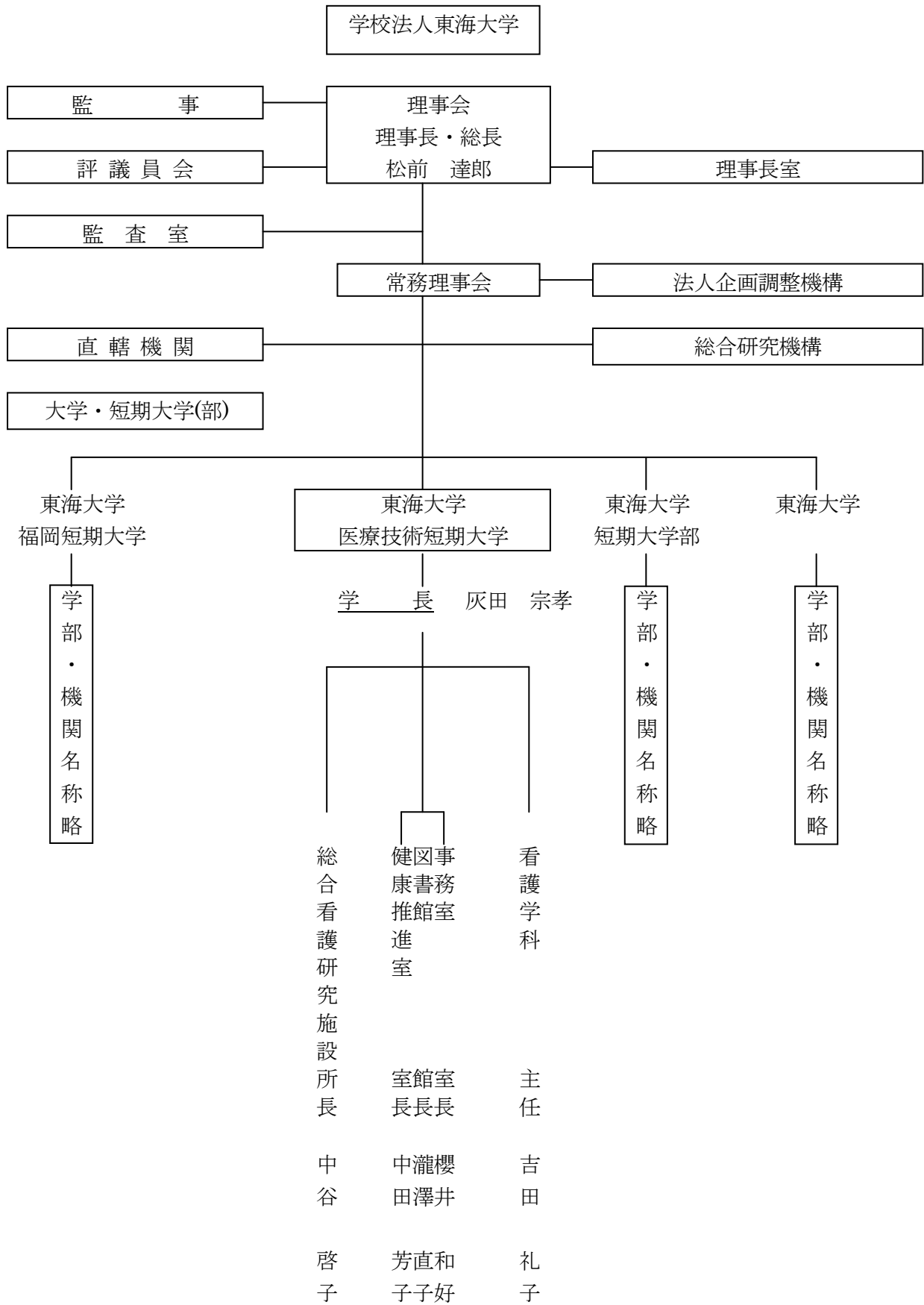
2008 年 4 月 FD 委員会が設置された。

2009 年 4 月 カリキュラム（2005 年改訂）の評価および指定規則一部改正を受け、カリキュラムを改訂した。

2010 年 4 月 デンマークより学生 26 名、教員 4 名の研修を受け入れた。

2012 年 3 月 カリキュラム（2009 年改訂）の評価を行った。

3 組織



医療短大

